

【第2報・最終】車両後退時の接触事故

1. 発生日時 : 令和8年2月6日(金) 16:40
 2. 発生場所 : メンテ名古屋 ●●事業所 裏
 3. 工事名 : 2025年度 東名高速道路 ●●管内維持修繕業務
 4. 受注者名 : 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
 5. 概要 : 2tトラックが誘導員を配置しないまま車両を切り返した際に、車両後方のポンプ制御盤に接触したものの。
 6. 被災状況 : 物損(ポンプ制御盤の傾き) 人的被害なし
 7. 第三者被害 : なし
 8. 時系列
 - 2月6日(金)
 - 16:40 事故発生
 - 16:47 当事者から●●(●●)に報告
 - 17:12 ●●(●●)から●●(●●)に報告
 - 17:15 ●●(●●)からメンテ名古屋に報告
 - 17:27 ●●事業所(所長)からメンテ本社へ報告
 - 18:00 メンテ名古屋から●●HSC 保全計画に第1報報告
 - 2月9日(月)
 - 8:30 緊急安全大会実施
 9. 公表の有無 : なし
 10. 報道等 : なし
 11. 指導事項 : なし
 12. 原因 : 運転手のルール軽視により、誘導員を配置せず、安易に誘導なしでも後退できると判断し後退した。
 - ・助手は現場で規制撤去班に合流したため、1人乗車で帰着することとなり、誘導員不在のまま駐車場内にてバックした際にポンプ制御盤に接触した。
 - ・帰着した際、周囲に誘導を頼む人がいなかったため、誘導員なしで後退した。
- ### 運転手ヒアリング
- ・車両後退時に誘導員を配置することは理解しており、これまで車両後退を行う場合は、必ず誘導員を配置して後退していた。
 - ・事故を起こした場所でも、過去に誘導員を配置して後退していたが、その際に、この箇所に障害物があるという認識は無かったため、誘導なしでも後退できると安易に判断した。

1 3. 再発防止対策

【後退作業の基本ルール】

- ・後退時は、誘導員を必ず配置し、誘導員がいない場合は後退しない。
- ・誘導員がいない場合は前進駐車で待機し、誘導員確保後に後退駐車を行う。
- ・1人乗車で帰着時に誘導員がいない際の一時的に前進駐車できるエリアの確保。2/16安全大会周知済。

【事前確認・表示】

- ・作業前 K Y 時に 1 人乗車車両の後退の有無確認で「有」の場合、誘導員の確保方法（後退誘導をいつどこで誰と合流して依頼するか）を詳細に確認する。（KYシートに確認欄追加）
- ・ハンドル中央付近に「誘導員なしで後退しない」という注意書きを貼る。

【職場環境づくり】

- ・誘導員がいない場合、遠慮しないで周りの人に誘導を依頼する。
- ・誰にでも誘導の依頼ができるよう職場環境を整える。

2/16全員参加の後退誘導訓練により誰でも誘導ができることを確認した。

【教育・設備】

- ・車両後退訓練を四半期毎に実施し、後退手順を共有・徹底する。

2/16全員参加の後退誘導訓練実施。

- ・作業手順書、セーフティバイブルを学習する機会を設け、理解度テストで確認する。
- ・支障となる施設等の視認性向上のため、照明設置や防護措置を行う。2/6当該制御板の防護措置済。

【安全意識】

- ・予定外の状況になった場合等、判断に迷う場合は、一人で判断しないで責任者へ連絡し相談する。
- ・朝礼時に指差呼称を実施し意識づけしていく。

「車両後退時の誘導員配置よいか？」「誘導員、配置よし！」

- 1 4. その他：車両が接触したポンプ制御盤は汚水処理設備の中継槽ポンプであった。現在ポンプの運用はできているものの接触により制御盤の扉の開閉ができない状況であり、制御盤内の電子機器の確認ができない状況である。制御盤の支柱・制御盤とも損傷があるため今後は全取替で復旧予定。

【第2報・最終】車両後退時の接触事故



接触箇所

ポンプ制御盤が車両
接触により傾く



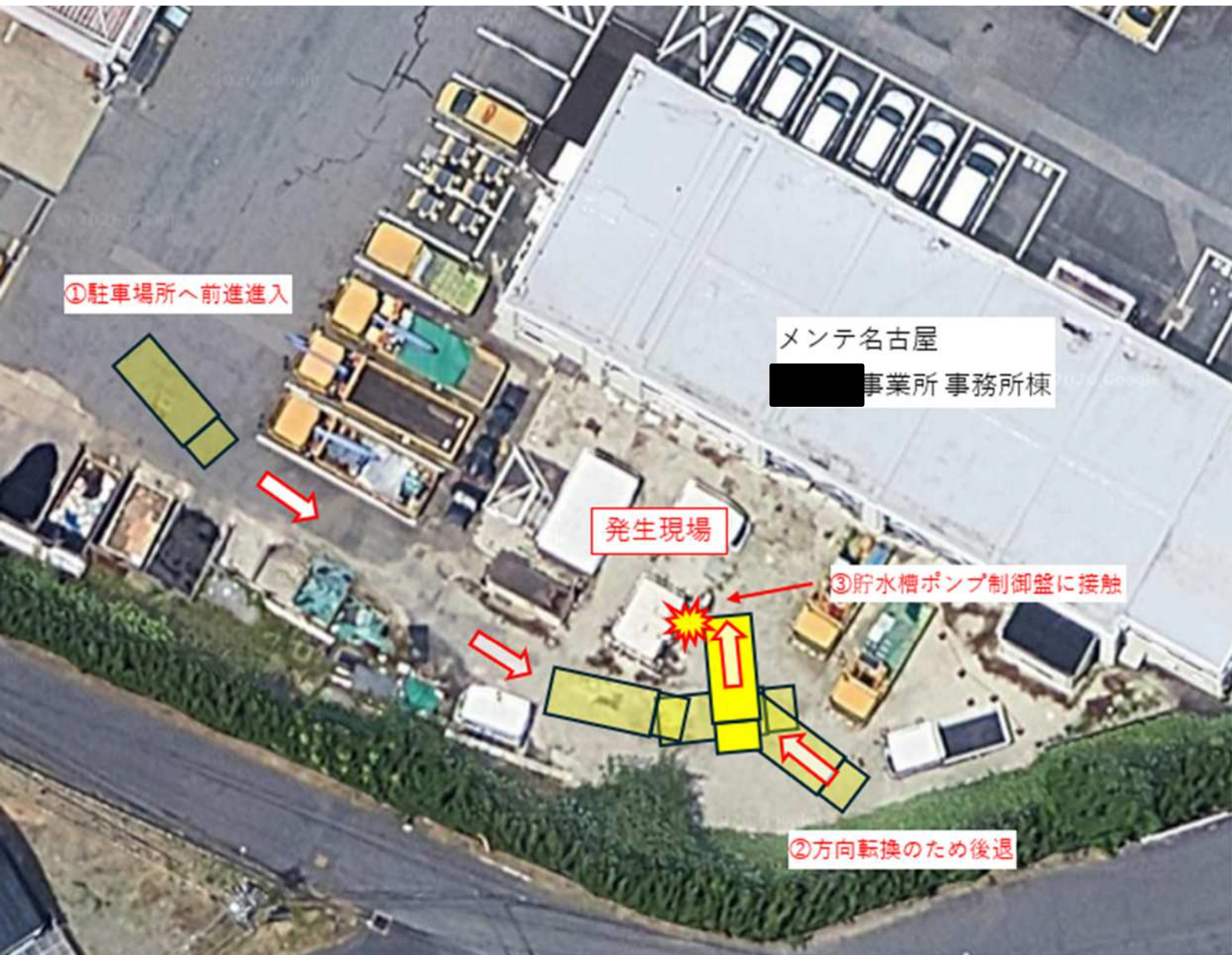
接触箇所
拡大



車両接触箇所

【第2報・最終】車両後退時の接触事故

接触車両の動き方



【対策状況①】

注意喚起の対策写真



前方駐車待機場所の設置



【対策状況②】

事故発生場所当該制御盤周りの防護措置済



【緊急安全大会】	2026年2月9日	8:30~10:00	48名	計110名
	2月10日	16:00~17:00	28名	
		18:00~19:00	34名	

